

三條北ロータリークラブ週報

No. 29



ゴードン R. マッキナリー RI会長 「世界に希望を生み出そう」
 第 2560 地区：米山忠俊ガバナー 「ロータリーの心で友情を深めよう」
 三條北 RC：森 宏 会長 「GLOBALに活動しよう」



会長：森 宏 幹事：安藤 宰 SAA：福岡 信行

●例会日：火曜日 12:30～13:30 ●例会場：三條ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事：「外部卓話」
- ◆本日の出席：54名中29名
- ◆先々回の出席率：54名中44名 81.48%
(前年同期 81.13%)
- ◆本日のゲスト：
クローバフォーグループ
株式会社 スノエ青果
代表取締役社長 洲崎 直人 様
- ◆本日のビジター：
三條 RC 幹事 小林 吾郎 様
- ◆先週のメイクアップ(敬称略)：
2/10 青少年交換派遣学生オリエンテーション
米山忠俊
- * 本日の配布書類等
 - ・ 月信 2月号(閲覧)
 - ・ 週報 No.1741
 - ・ 分水 RC 創立 50 周年記念式典のご案内

会長挨拶：森 宏 会長



皆さんこんにちは。

本日は、株式会社スノエ青果代表取締役社長の洲崎直人様にお越しいただきました。後ほど卓話よろしくお願ひ申し上げます。また、三條ロータリークラブ幹事の小林吾郎様も、

急遽お越しいただきありがとうございました。卓話ご希望でしたら、ご自由にお願ひします。

さて先程先週のメガネケースの忘れ物の話がありましたが、私も今日はここに新しいメガネを持参しました。多くの皆様が眼のことではお悩みがあると思いますが、私も40代で老眼が始まり、最近では遠近両用を使っていますが、デスクトップを見ると顔を上げないと画面を見られないので、電子カルテを長時間見ていると、後頸部が疲れてしまいます。そこで、近近メガネ、というのを処方してもらい、手元の書類とデスクトップの画面が見やすい眼鏡を新調しました。お陰で首が疲れなくなりましたが、それをかけると、今皆様の顔は、ボーとしか見えません。

では洲崎様、後ほどよろしくお願ひいたします。

幹事報告：齋藤孝之輔 副幹事



・ 地区米山記念奨学委員長より、「米山記念奨学生終了式当日のご案内」
 服装について（ぜひ民族衣装でご参加ください。）
 二次会開催について

・ 三條 RAC より、「三條 RAC 3 月第一例会のご案内」
 日時：3 月 7 日(木) 19:30～21:00
 会場：三條・燕地域リサーチコア

・ 三條 RAC より、「三條北 RC 会員卓話」の依頼
 日程：3 月 21 日、4 月 4 日、4 月 18 日、5 月 2 日のいずれか
 都合の良い日でお願ひいたします。



ロータリー財団 BOX

2月13日現在累計 311,000円

米山 忠俊 君 春香る 孫娘 手作りのバレンタインチョコレートに じじにんまり
石丸 進 君 洲崎様本日はありがとうございます。
森 宏 君 株式会社スノエ青果 代表取締役社長 洲崎直人様を歓迎して。
星野 義男 君 小林吾郎さん、いらっしやいませ。北ロータリーの例会を楽しんで下さい。
澁岡 茂 君 財団に協力。
花井 知之 君 本日も御協力ありがとうございます。



米山奨学 BOX

2月13日現在累計 210,000円

石丸 進 君 洲崎様、本日は誠にありがとうございます。よろしくお願ひ致します。
森 宏 君 三条ロータリークラブ幹事 小林吾郎様を歓迎して。



スマイル BOX

2月13日現在累計 619,000円

三条 RC 幹事 小林吾郎様 今日急遽おじゃまする事になりました。
よろしくお願ひします。初めてのメーキャップです。
石川 一昭 君 本日の卓話 スノエ青果 洲崎様、卓話宜しくお願ひ致します。
石丸 進 君 洲崎様、本日は有難うございます。
森 宏 君 花粉対策始めました。皆様、早目の準備を。
武田 恒夫 君 洲崎直人様よろしくお願ひします。
石川 友意 君 洲崎社長様の卓話に感謝して!! 三条クラブ小林幹事様を歓迎して!!
佐藤 義英 君 BOXに協力!!
外山 裕一 君 BOXに協力。
吉川 将人 君 いつも美味しいカレーライスを楽しみにしています。BOXに協力します!



本日の行事：「外部卓話」

講師紹介： 石丸 進 プログラム委員長

講師の洲崎様をご紹介いたします。私共の会社で青果の方をお付き合いさせていただいておりますが、元もとは経営コンサルタントをされていて16年前くらいからお世話になっております。本日は株式会社スノエ青果の代表取締役社長 洲崎直人様から卓話をいただきます。では、洲崎様よろしくお願ひいたします。



「業務用食品卸売業を生き抜く為に」

クローバフォーグループ 株式会社スノエ青果
代表取締役社長 洲崎 直人 様



株式会社スノエ青果の洲崎と申します。ただ今、石丸会長からご紹介いただきました通り、前職の会計事務所に勤務していた頃からのお付き合いで16年になります。11年ほど前に転職いたしまして、業務用食材卸売りのクローバフォーグループに勤めております。

①会社概況

クローバフォーグループ

親会社は27期目の(株)クローバフォーですが、(株)スノエの方が52期目で長いのは2008年に後継者がいない理由で銀行を通してM&Aをした先が(株)クローバフォーという経緯からです。実は(株)スノエは私の叔父が経営していた会社で、私は会計事務所に勤務していた頃に叔父からM&Aで売ったと聞いていました。ある席で現在の代表の

星名と出会ったのがきっかけで、11年前にスノエの役員として勤務することになりました。そして3年前から(株)スノエ青果の代表を務めています。

(株)スノエは病院福祉施設向け食材卸をしており食材全般を納めていく中で、野菜を取り扱う為(株)スノエ青果は11年前に設立しました。グループ本社は十日町ですが、私は長岡の会社を任されているので、今日の話は長岡の会社をメインに話させていただきます。

② 食品卸売業の現況

新潟県内で業務用卸売会社(外食関係や給食関係へ販売している会社)は、私が知っているだけで県内21社あり、年商は330~340億円くらいです。地味な業界で淘汰されるとも言われる業界です。しかし、食品卸は必要な食材を必要な時に届けるという部分では、必要とされる業種と考えています。ただ、変化に対応できないところは淘汰されるという風には私自身は思っています。

③ 福祉に絞る(選択と集中)

(株)スノエは元々学校給食からスタートした会社ですが、現在は福祉施設・病院向けの食材卸専門となっています。

なぜか・・・

学校給食に限って行くと、子供の数の減少、お昼の1食だけ、夏休みなど休み多い、コロナ・インフルなどで当日食材キャンセルされるケースがある、食材の当日配送で配送が大変、といった問題があります。そのため、11年前に学校給食を完全に止めました。2012年、学校給食事業2.5億を捨てる決断をしました(そのため売上9億まで減少)。その代わり病院・福祉施設といったメディカルな方が伸びてきたので、そちらを選択し集中する方針に転換しました。

新潟県内や全国にも食品卸売の会社はたくさんありますが、学校給食を辞めた卸売会社は無いとメーカーからは聞いています。非常に大きな決断でした。

病院・福祉施設に冷凍食品・チルド品・日配品・缶詰を納めていましたが、2012年(株)スノエ青果設立し、長岡の青果市場で仲卸になり青果を含め

ワンストップで食品全てを納品できる体制を作りました。

(株)スノエ青果の野菜は福祉施設向け(60%)、外食産業向け(40%)に、一括で集中調理しています。カット野菜の需要が増えているので、今後もそこに力を入れていきます。

④ パレートの法則 80:20の法則

パレートの法則とは「全体の数字の8割は、全体を構成する要素の内20%の要素で生み出している。」というものです。

売上で言うとうわかりやすいかもしれませんが、売上の8割は全顧客の2割で生み出していると、一般的に言われています。自社で調べてもそうでした。

(株)スノエでは、村上から糸魚川まで県内全域を、長岡から16台の2トントラックで配送してきましたが、見直しをかけています。物流費を計算し赤字になっているルート、我々の営業不足もありますが今後拡大が期待できない地域等を検討し、そこからお客様には丁寧に説明し代わりの卸売会社を紹介するなどして、昨年取引を終了した先があります。佐渡も20件くらいお客様がいましたが、2年ほど前に取引を止めました。そういった事でお客を絞り、効率や生産性を上げる為に非常に大きな決断でした。

人件費を上げる、残業削減、有休取得、様々な経営課題の解決を迫られるなか、変化していかなければならないということで、変革の時であり、生産性・効率を上げるため大きく変わろうとしています。

全部が全部当てはまるというわけではありませんが、パレートの法則というものがあるということをご紹介いたしました。

⑤ 県内ナンバーワンを目指す!

我々は小さいエリアからNo1を目指してきました。(株)スノエ・(株)スノエ青果はインター近くの長岡新産業センターに会社を構えていますが、その中で会社をきれいにする事、ゴミが落ちていない事を目指し、また、社員が勉強する風土を作ろうということで、資格取得(販売士、簿記、エクセルワード)を推進して10年位経ちます。資格取

得でお給料に反映される様にしており、9割以上が資格を持っている状態です。また更に上の級を取得することで給料に加算され、皆さんが勉強をする風土が上がりました。

会社の5か年計画を社員にも説明し、頑張ったらこれだけ上がるということを示し、またそういった仕組みを作り、目標に向かって行きたいと思っています。目指すエリアも長岡西地区、長岡市内、中越地区、新潟県と広くしていき、業務用食材卸県内No1を目指したいと取り組んでいます。雇用環境・経常利益・教育制度・売上高・自己資本・平均年収、などの目標項目を決めて県内No1を目指しています。

福祉施設に絞ったり、パレートの法則など、いろいろ試行錯誤しながらですが、変化をしていかなければ生き残っていけないので、そういった事に取り組んでいるのが我々のグループの現況です。

最後、社是「最高の挑戦者であれ」としてありますが、挑戦という言葉キーワードとして、生き抜くため日々挑戦しながら取り組んでいます。

皆さんに上手く伝わったか、また参考になったかわかりませんが、このようにやっているのが現状です。

拙い話でしたが、本日はありがとうございました。

ガバナー月信 2月号より

※ 米山記念奨学生の選考方法について書かれています。



2024 学年度 米山記念奨学生選考会について

米山記念奨学委員会

小林 達 奨学生選考委員長 (新潟北 RC)

国際ロータリー第2560地区米山記念奨学委員会は1月13日(土)、万代シルバーホテルで2024学年度米山記念奨学生選考会を開催致しました。

米山ガバナーが面接委員として参加いただいた選考会は、打合せの冒頭に1月1日の能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げ始めました。

選考会は、事前に12月23日に書類選考を行い、申込書の確認・指導教員からの推薦状・研究内容・日本留学の目的などその熱意や具体性そして将来性について評価をしました。当日の面接選考会では、43名の応募者を午前の部と午後の部に分けて、6班に分かれた25名の面接委員によって個人面接を実施し、全34地区共通の選考基準(評価項目)で日本留学の目的や将来の目標、ロータリーへの関心度、人柄や人間性、異文化への理解やコミュニケーション能力を評価しました。

その後、グループディスカッションでは、当日のテーマについて7~8人のグループに分かれて司会、書記、タイムキーパーを決め進めていき、その中でリーダーシップ・協調性・論理的思考力などを評価しました。そして最後に面接委員全員で合格選考会を行い、採用が1カ国に偏らないなどの地区裁量を含めた選考基準で奨学生を最終決定しました。

その結果、18名の奨学生を選考。2024学年度の奨学生は、継続の9名を加え27名となります。選考会を突破した学生たちは、全員が米山奨学生としてふさわしい優秀な学生達です。

今後は、この新規18名の奨学生の受け入れ先として選ばれたクラブに世話クラブとカウンセラーの選出をお願いいたしますので、その際には是非とも快くお引き受けいただけますようお願いいたします。

この奨学生たちは、ロータリアンと交流しながらロータリーの奉仕の精神や学業だけでは得られない多くの貴重な経験や知識を得て、将来母国と日本との懸け橋になって国際社会で活躍し、世界平和に寄与する人材として成長してくれるものと思います。

これからもロータリアンの皆様の米山記念奨学生事業に対してのご理解とご協力をお願いいたします。